

令和 4 年

自治

県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
115

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/高松市

My Town

屋島に新たな交流拠点オープン

株式会社都村製作所 代表取締役社長 都村 尚志さん

Top Message

体を動かすことの楽しさを提案

地域の元気印/丸亀市

People

讃岐広島・小手島・手島活性化協議会



広島のシンボル「尾上邸」を拠点に島の活性化を目指す讃岐広島・小手島・手島活性化協議会の皆さん
(丸亀市)



高松市



かつてのにぎわいを取り戻せ！ 屋島に新たな交流拠点オープン

高松市が誇る観光地の一つである屋島に、高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」が誕生します。2013（平成25）年1月に策定した「屋島活性化基本構想」の取り組みの一つで、屋島の魅力をさまざまな視点から広く発信していきます。

愛称は「やしまーる」に 決定

四国八十八カ所霊場第84番札所の屋島寺をはじめ、屋嶋城跡や展望台、水族館など人気のスポットが点在する屋島。山上からは瀬戸内の多島美や高松市街地、讃岐山脈が一望でき、「日本の夕陽百選」や「夜景100選」にも選ばれています。そんな屋島に新たな拠点施設が誕生します。愛称は「やしまーる」。1247件の公募の中から愛称を決定しました。

やしまーるの完成イメージ

屋島及びその周辺地域の自然、歴史、文化などの魅力を広く発信するとともに、これらを活用したさまざまな交流・学習の機会、憩いとふれあいの場を提



（設計者）SUO+Style-A設計共同企業体

展望スペース

ついて、高松市観光エリア振興室長の南部隆之さん、係長の原宏樹さん、関隼太朗さんに話を伺いました。

提供する施設として8月にオープンする「やしまーる」は、高松市の新たなシンボルとして親しまれることが期待されています。屋島の活性化に向けた取り組みに

過去と現在の瀬戸内海を 堪能

「やしまーるは、屋島の自然や歴史、文化などの魅力を結びつけて発信する高松市のシンボリックな場所」と話してくれた南部さん。建物は緩やかに湾曲した回廊型で、市民や観光客が気軽にくつろげるよう、建物と屋外の広場とが連続的につながり、一体化した空間となっており、解放感にあふれています。原さんは、「施設は円形で、各スペースの仕切りがなく、建物も屋島の景観に溶け込むような空間づくりを意識しています」と教えてくれました。



写真左から高松市観光エリア振興室の南部さん、原さん、関さん



整備中(令和4年4月23日撮影)



整備前(令和2年5月23日撮影)



(設計者) SUO+Style-A設計共同企業体

パノラマ展示室

ているよ
うな雰囲気
が味わえ
ると思
います。
室内で架
空の世界、
一歩外に
出ると現
実の瀬戸
内のパノ
ラマが一
望できま
す」と関

さん。過去と現在の屋島の魅力を堪能
できる場所になりそうです。

官民連携し、山上周辺を整備

高松市北東部に位置する屋島は、
1934(昭和9)年に瀬戸内海国立公
園及び国の史跡、天然記念物に指定さ
れました。山上からの眺望が優れ、四国
八十八カ所霊場や水族館のほか、周辺
には源平合戦の史跡など、貴重な地域
資源が数多く残っています。

一方で、屋島の観光客数は、瀬戸大橋
の開通や水族館のリニューアルなどに
より持ち直した時期はあるものの、
1972(昭和47)年の年間24.6万人
をピークに減少。屋島山上の各施設は老
朽化が進み、建物の廃屋が放置されるな
ど、問題が顕在化するとともに、山上の
アクセスとして重要な役割を担ってい
た登山ケーブルが2004(平成16)年
に休止し、再開することなく廃止したこ
ともあり、コロナ禍前の2019(令和
元)年には約50万人まで落ち込みました。

市は、屋島にある自然や歴史的価値の
ある文化財を活用し、活気を取り戻そう
と、2013(平成25)年1月に「屋島活
性化基本構想」を策定しました。屋島ド
ライブウェイを市道化し、駐車場を再整
備するなどアクセス整備を計画的に進

めてきました。また、麓にある「四国村ミ
ウゼアム」のリニューアルオープンや、
山上の飲食施設「れいがん茶屋」の改修
など、民間施設においても、屋島の再興
に向けた取組が進んでいます。そんな中、
8月にオープンする「やしまーる」に、地
元の人も期待しています。

校外学習、国際会議にも活用

市は8月のオープンに向けて、さまざ
まなプロモーションを検討中です。屋島
の魅力を発信する公式観光情報サイト
「オール屋島」では、施設が完成するまで
の工事の進捗状況を画像で紹介して機
運を高めているほか、今後はさらに
SNSなども活用していく予定です。

完成後は多くの市民や観光客に利用
してもらえるように、原さんは「屋島
の新たな楽しみ方を発信していくとと
もに、地元の人が県外客を『屋島に連
れて行こう』と思ってもらえるような
魅力ある場所にしていきたい」と考え
ています。南部さんは「小学生などの
校外学習の場や、国際会議、アフター
コンベンションなどの会場としても活
用していく予定です」と今後の展開を
話してくれました。屋島の魅力が堪能
できる山上の特色ある「やしまーる」
の完成が待たれています。

香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

株式会社都村製作所

代表取締役社長

都村 尚志さん

子どものころに公園の遊具で遊び、楽しかった思い出があると思います。私たちは体を動かす楽しさを伝えるため、新たな取組みに挑戦しています。

行政も予算の制約、前例、他自治体の事例を言い訳にすることなく、自分の頭で考えてチャレンジしてほしい。必要だと思ったことは先延ばしせず実行する行政を期待しています。



1893（明治26）年に創業し、来年で130周年を迎える株式会社都村製作所。公園遊具や体育器具の製造販売を中心に、スケートパークやアリーナの設備など新たな事業にも果敢に挑戦している代表取締役社長の都村尚志さんにお話を伺いました。

貴社の企業理念を 教えてください。

企業理念は「創造」、「提案」、「貢献」です。遊びやスポーツを通じて、体を動かす楽しさを伝えるために、私たちができることを考え、顧客のために提案し、社会に貢献していきたいと考えています。

入社されてからこれまでの道のりを教えてください。

私が入社したころは、ふるさと創生事業が盛んで、自治体が投資



安全に配慮した大型複合遊具



本社社屋

をして公園の整備が進んでいました。当時は木製遊具が人気でしたが、少子化による小・中学校の統廃合などにより、時代とともに市場は縮小しています。一方で、スケートボードやBMXなど新しいスポーツの台頭や、スポーツのエンターテインメント化が進み、「魅せるスポーツ」としての設備などの依頼が増えてきました。時代の流れとともに求められる製品も変化しています。

弊社は公園遊具と体育器具の2本柱で、公園遊具が売上の35%、体育遊具が65%を占めています。木製遊具は下火になりましたが、鉄製遊具の需要は少しずつ増えています。個人的には木のぬくもりが感じられる木製遊具が好きですが、

年月が経つと見た目が古くなり、腐食が目立ちます。耐久性を考えると近年は鉄製が増えています。

子どもたちが遊ぶ公園遊具から、競技で使用する体育器具などを作られています。ものづくりで大切にしていることは何ですか。

一番は安全性です。遊具の安全基準は年々厳しくなっており、1本柱の回旋塔や4人乗りのブランコはほとんど見かけなくなりました。その他の遊具も、突起物やさくれなどがなく、常に気を付けています。安全基準は重要ですが、昔のようなスリルのある遊びが少なくなっただけは、個人的には残念ですね。

体育器具について、弊社はさまざまな競技の検定工場になっており、各競技で基準がありますので、それに基づいた製品を作ることを中心としています。弊社は最先端の技術を使ったものづくりではなく、時代に合わせて「器用につくる」会社です。顧客のニーズにはアンテナを常に張り巡らせています。



スケートパークが子どもたちの憩いの場に

新たな事業として、スケートパークや自転車競技BMXのセクションなどを手掛け、スケートパークでは全国シェア1位と聞きしました。参入するきっかけは何でしょうか。

スケートパーク事業を始めたのは20年前のことで、当時は競合先がありませんでした。スケートパークは、スポーツ施設と遊具の中間的な位置づけであり、弊社が得意とするところと合っていました。毎年3施設くらい手掛けていくうちに、気が付けば50件以上の実績ができ、全国シェア1位になっていました。

参入当時は、路上でやっている人が多く、禁止する地域もありましたが、最近はスポーツとして認知され、地域からも感謝されるようになりました。東京オリンピックで若い選手が活躍し、メダルを獲得したことは大きかったですね。今は問い合わせも増え、営業も頑張っています。

他にも天井につるす大型ビジョンやスコアボードなども提案し、Bリーグやアイスホッケーの会場で採用された経緯を教えてください。

大型ビジョンやスコアボードは、アメリカのNBAで採用されているメーカーと代理店契約をして、製品を輸入しています。富山市の入札案件では、国内の大手企業と

競合しました。弊社の製品は、海外での実績が数多くあり、それを日本向けにカスタマイズして提案し、受注できました。



Bリーグで採用されているアリーナ設備



国体などの全国大会には社員が会場に足を運んでいるとお聞きしましたが、その目的は何でしょうか。

設営が必要な競技については、必ず社員が待機し、不具合が生じた時にすぐに対応できる体制を整えています。東京オリンピックでは、トランポリンの設営を行い、期間中は社員が待機していました。

また、バドミントンは大きな大会になるとマットを敷き、特設のポールを立てます。日程が進むにつれてコート数を減らしていくので、社員が現場で設営指導を行っています。

スケートボードやBMXの会場



競技用トランポリン

は設備が大きく、当社から機材を運び、クレールンで降ろして設営し、大会が終われば撤去します。最近の大きな大会は、



BMXのセクション

施設が整備されてきたこともあり、常設の会場で行うことが多くなりました。

近年、少子化や安全性から子どもの遊具が撤去されたり、老朽化した遊具をそのまま使用して事故になってしまったりするニュースも耳にします。安全性についての考えをお聞かせください。

安全性については、業界はもちろん、社内でも厳しい基準を設けています。事故は想定外のこともありますので、「点検」の徹底をお願いしています。鉄製でも地面と接している部分は腐食しやすくなります。連絡いただければ、資格を持った社員が点検に伺うようにしています。

私たちの業界では、リスクとハ

ザードという言葉を使います。ハザードは重大事故が起こる危険、リスクとは事故が起こる可能性があることですが、リスクを回避することは教育上必要なことでもあります。のぼり棒やジャングルジムなどは、下にマットを敷き安全性を確保しています。子どもにとつてのハザードを排除し、安全基準の中でどれだけスリルがあつて面白いものを提案できるかが、つくる側のだいご味だと思います。

専門性、多様性が求められる職種だと思いますが、社員教育や技術力向上にはどのように対応されていますか。

これまでは「先輩の仕事を見て盗め」という職人気質なところがありました。今は資格の取得や、社内の作業標準の映像化を進めています。作業手順の手引きはありませんが、技術的な作業は文章では表現しにくい部分もあります。私は技術的にはそこまで詳しくないので、逆に私が読んで理解できるかを判断基準に作成しています。また、動画は現場にいても携帯で見ることが可能で、必要な時にすぐに確認できるメリットがあります。



子どもが楽しめるクライミングウォールを開発

貴社は来年で創業130周年を迎えますが、今後の展開をお聞かせください。

これからは公園遊具と体育器具の2本柱に加え、3A（アリーナ、アーバン、アミューズメント）を中心に展開していこうと考えています。アリーナは「魅せるスポーツ」に欠かせない大型ビジョンなどの設備、アーバンはスケートボードやBMX、パルクール、クライミングなど若い人に人気のスポーツ器具、アミューズメントは民間の室内遊具施設を指します。3Aの共通点は「体を動かしながら楽しめる」こと。弊社の得意分野であり、企業理念にも合っていると思います。

休日はいかがお過ごしですか。趣味や県内でお気に入りの場所があれば教えてください。

もともと体を動かすことが好きなので、今は健康維持のために定期的に地元のジムに通っています。丸亀ハーフマラソンには毎年エントリーしていますので、秋ごろからは大会に向けてランニングを中心にトレーニングしています。

好きな場所といえば、瀬戸大橋記念公園ですね。景色がいいので、犬を連れてよく出掛けています。

香川県や市町の行政に感じていることをお聞かせください。

組織の一員としてでなく、個人の顔と名前で仕事をしてほしいですね。行政でも自分が「これをやりたい」と思うことはやればできるとしています。個人の生活と仕事を切り離して、決められたことをやっている人が多いような気がします。日常生活の中で感じたことを仕事に生かしてほしいです。

近年、公務員を志望する若い人が増えていますが、その給料は税金だということを忘れないでほしいです。



都村 尚志 (つむら・たかし)

兵庫県出身（琴平町在住）

昭和39年12月生まれ 57歳

昭和63年3月	京大法学部 卒業
昭和63年4月	株式会社東京銀行 入行
平成 6年6月	株式会社都村製作所 入社
平成 8年2月	同社 取締役
平成 9年4月	同社 代表取締役
平成11年4月	香川県議会議員に初当選
平成24年6月	株式会社都村製作所 代表取締役 現在に至る

PROFILE

本誌を読む自治体職員に向けて、アドバイスをお願いします。

瀬戸内国際芸術祭は、私が県議会議員時代に県職員の提案がきっかけで、事業がスタートしました。

いす。民間企業が税金を納めることはすごく大変なことで、売上を上げるためにはさまざまな企業努力を行い、利益を積み上げていきます。予算も県民から徴収した税金であることを意識して使ってもらいたいですね。

その提案内容から見ても、職員の思いはとても強かったと思います。今の職員にも、予算の制約、前例、他自治体の事例を言い訳にすることなく、自分の頭で考えてチャレンジしてほしいです。県内でも新しい事業に積極的に取り組んでいる自治体もあり、今はいろいろなことに挑戦できる時代だと思います。必要だと思ったことは先延ばしせず実行する行政を期待しています。



危機管理総局 くらし安全安心課
副主幹 中村 美奈

自転車損害保険等への加入が義務となりました

香川県自転車の安全利用に関する条例

香川県では平野部が多く、自転車が利用しやすい環境にあることから、多くの方が自転車を日常的に利用しています。

一方で、人口10万人当たりの自転車事故発生件数は全国ワースト上位が継続していたことから、平成29年10月、県は自転車の安全利用を促進する「香川県自転車の安全利用に関する条例」を制定し、翌年4月1日から施行しました。

条例で定められた四つの施策

本条例では、次の四つの施策が定められています。

- ① 自転車の交通ルールの遵守
- ② 自転車の点検整備の実施
- ③ ヘルメットの着用
- ④ 自転車損害保険等への加入

これらの施策について、県はこれまで、さまざまな媒体を活用して広報啓発を行ってきました。

特に④については、加入が努力義務とされたことから、自転車損害保険の取扱いを行っている県内の金融機関や県PTA連絡協議会と協定を締結し、連携して保険の加入促進に取り組むとともに、日本損害保険協会四国支部と共に作

成したチラシを、県内の小・中・高等学校等へ配布しています。

条例の改正（保険加入義務化等）

しかし、令和2年の県政世論調査では、県内の保険加入率は、51・6％に留まっていました。

このことを踏まえ、保険加入を一層促進するために、令和3年8月のパブリックコメントを経て、同年12月、条例の一部を改正し、本年4月1日から施行しました。改正点は次の3点です。

- ① 自転車損害保険等への加入の義務化
- ② 自転車損害保険等への加入の確認等の努力義務化
- ③ 自転車損害保険等に関する情報提供の努力義務化

まず、①については、自転車利用者、保護者、事業活動において従業員に自転車を利用させる事業者、自転車貸付事業者が対象となります。対象者は、自転車事故時に相手の損害を補償できる「自転車



条例改正広報用チラシより抜粋

損害保険等」へ加入しなければなりません。

次に、②については、事業者が対象で、自転車通勤する従業員の保険加入状況を確認し、未加入者へは加入義務化の情報などを提供するよう努めなければなりません。

最後に、③については、自転車貸付事業者と学校が対象となります。自転車貸付事業者は借受人へ自らが加入している保険について、学校は児童やその保護者等へ加入義務化等について、それぞれ情報提供するよう努めなければなりません。

今後の自転車交通安全対策

自転車損害保険等への加入は、自転車事故による被害者の確実な救済のみならず、事故の危険性を認識していただくことにより、自転車の安全利用意識の向上につながるものと考えています。

県は、今後も自転車の交通安全対策について、市町交通安全対策主管課をはじめ、関係機関と連携しながら積極的に取り組んでまいりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。



地方公共団体の「経営・財務マネジメント強化事業」について

市町からの

Q & A



政策部 自治振興課
副主幹 野崎 誉子

人口減少が進行する一方で、インフラ資産の大規模な更新時期を迎える中、財政・経営状況やストック情報等を的確に把握し、「見える化」した上で、中長期的な見通しに基づき持続可能な財政運営・経営を行う必要が高まっています。

このため、地方公共団体等の経営・財務マネジメントを強化し、財政運営・経営の質の向上を図るため、総務省と地方公共団体金融機構（以下「機構」といいます）の共同事業として、地方公共団体等の状況や要請に応じてアドバイザーを派遣する「経営・財務マネジメント強化事業」が令和3年度に創設されました。今回は、2年目を迎える同事業についてご説明します。

支援事業の対象となる地方公共団体等とは？

① 市区町村（公営企業を除きます）

② 市区町村の公営企業

③ 市区町村を設立団体とする公営企業型地方独立行政法人（都道府県が設立団体として加わっているものも含みます）

④ 第三セクターのうち、市区町村が出資するもの（都道府県が出資団体として加わっているものも含みます）で地方公共団体の出資割合が25%以上のもの

⑤ 都道府県（公営企業を除きます）が対象となります。

支援内容は？

次の四つの支援分野について、地方公共団体等の申請により、専門的な知識を有するアドバイザーを派遣します。なお、アドバイザーの派遣経費（謝金及び旅費）は、機構が負担します。

〈支援分野〉

① 公営企業・第三セクターの経営改革（経営戦略の改定・経営改善、公立病院経営強化プランの策定及び経営強化の取組、上下水道の広

域化等、第三セクターの経営健全化）

② 公営企業会計の適用

③ 地方公会計の整備・活用

④ 公共施設等総合管理計画の見直し・実行（公共施設マネジメント）

支援方法は？

支援メニューには、次の三つがあります。

① 課題対応アドバイザー事業

市区町村・公営企業が直面する課題に対して、当該課題の克服等、財政運営・経営の改善に向けたアドバイザーを必要とする場合にアドバイザーを派遣します。

② 課題達成支援事業

知識・ノウハウが不足するため課題の達成が困難となっていると判断された市区町村・公営企業に対し、技術的・専門的な支援を必要とする場合にアドバイザーを派遣します。

③ 啓発・研修事業

都道府県が都道府県内の市区町村・公営企業等に対する研修会・相談会を開催する場合に、当該研修会・相談会の講師として、アドバイザーを派遣します。

アドバイザーの派遣回数・派遣人数は？

派遣回数は支援分野の別ごとに年5回以内、派遣人数は1回につき1名が原則です。ただし、必要に応じて追加可能となっています。

なお、1回の派遣につき、アドバイザーの時間は3時間以上です。

また、派遣を受けることができる期間は2月末日までです。

申請方法は？

申込を希望する場合は、事前に総務省HPに掲載されているアドバイザーリストから派遣を希望するアドバイザーを選び、アドバイザーと年間派遣回数、予定日等の調整を行います。その後、Webシステム上で派遣申請を行います。支援決定を受けた申請団体は、アドバイザーの派遣を受けることができます。

今年度の申請は3回予定されており、第1次申請は終了しましたが、第2次申請は5月19日から6月17日まで受付中です。また、今後、第3次申請が予定されています。

福岡県
田川市

田川市の風景



地方創生統括監

千々松 裕治さん

共生社会を見据えた
障がい者スポーツの遠隔指導の挑戦

～ローカル5Gの実装で目指す「共生社会」の新たな可能性～

1 田川市の概要

田川市は、福岡県のほぼ中央に位置し、市の南には英彦山^{ひこさん}、北に福智連山、東には香春岳^{かちらだけ}を望む三方山で囲まれた田川盆地の中心都市であり、筑豊地域の中核都市です。かつては石炭産業が隆盛を極め、今でも日本初ユネスコの世界記憶遺産に登録された「山本作兵衛コレクション」をはじめ、古くから栄えた独自の文化が歴史的名所として市内に点在しています。

2 共生社会を見据えた障がい者スポーツの遠隔指導

(1) 背景・目的

田川市は、第6次総合計画の重点取組事項として、共生社会の推進を掲げ、東京2020パラリンピックの事前キャンプ誘致を契機に、「先導的共生社会ホストタウン」として、市内体育館のバリアフリー化やバリアフリー仕様の合宿施設の整備など、障がいの有無や国籍などに関わらず誰もが参加できる共生社会の実現に取り組んでいます。



バリアフリー仕様の合宿施設

日本の障がい者の数は約936万人、年々増加傾向にある一方で、社会参加率は低迷しています。特に、地方での指導者不足が指摘される障がい者スポーツは、今般の新型コロナウイルス感染症の影響



福岡県田川市

DATA
●面積/ 54.55km²
●人口/ 45,842人 (R4年4月1日現在)
●HPアドレス
<http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/>

もあり、対面での指導が困難な状況にありました。そこで、キャンプ誘致のレガシーを受け継ぎつつ、誰もが輝く共生社会を実現するため、新たな高度通信技術を活用し、地方における障がい者スポーツ競技の実施に係る障壁の解消と普及促進を図ることとしました。



ローカル5Gによる遠隔指導システム

障がい者スポーツは車いすを用いた競技が多いため、配線等が競技の支障とならないよう無線通信が望ましいことと、正確な指導のためには高精度な映像をリアルタイムに配信する必要があることから、ローカル5Gの技術が有効と判断し、昨年11月、市を免許人として、総合体育館にネットワークを構築しました。

手通信事業者ではない企業や自治体、一部のエリア又は建物・敷地内に専用の5Gネットワークを独自に構築し、5Gの強みはそのままに、WiFiよりも広範囲をカバーし、通信トラブルの影響を受けにくいネットワークシステムです。

(2) ローカル5G

5G(第5世代移动通信システム)は、高速大容量・低遅延・多数同時接続の特性を持った通信規格で、普及に伴い、さまざまなモノがネットワークに接続され(IIoT)、生活のあらゆるところで通信が行われる未来が予測されています。ローカル5Gは、大



海外車いすフェンシングチームとの交流



車いすラグビー実証実験の様子 (R3.12)

(3) 事業の概要

同年12月、ローカル5Gネットワークを構築した総合体育館に高精度カメラ(4K)を4台設置し、県内の車いすラグビーチームを対象に、さまざまな位置・角度から記録した選手の体制や動き等の高精度映像を遠隔地の指導者に送信し、リアルタイムで技術や戦略の指導を受ける実証を行いました。各カメラは、ローカル5Gのネットワーク下に置かれ、リモート先から映像切替や視点変更・拡大等の操作を行い、映像と同時に表示される俯瞰図を活用しながら選手を指導します。今年2月には車いすテニスにも競技種目を拡げて実証を行い、令和4年度中のサービス実装を目指しています。

(4) 今後の課題・展開

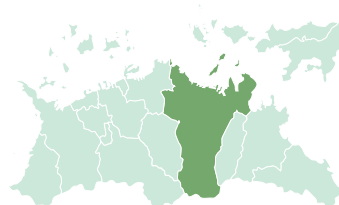
新たな技術の実装を伴う事業の全国展開や普及を見据えた際に、今後、健常者も含めた幅広い競技種目や健康づくりなど多種多様な分野・領域での施策の展開と実績が必要です。コロナ禍では多くの市民スポーツや行事が無観客になるなど、さまざまな制約を受けましたが、ローカル5G等の技術を活用し、好きな場所からリアルタイムで観戦できる仕組みへの応用を考えています。

3 おわりに

田川市が抱える課題は、人口減少、少子高齢化など全国共通のものから、産業の衰退、財政難など過疎地域特有のもの、そして、一般の新型コロナウイルス感染症の蔓延・長期化によるものが加わり、複雑化かつ深刻化している状況にあります。こうした課題に対し、本取組をはじめ、新たな技術の力を借りながら、誰一人取り残さない共生社会の実現に向けて、田川市は「できるところから一歩ずつ」挑戦を進めます。

香川の まち歩き

桃太郎伝説の「鬼ヶ島」として知られている女木島。瀬戸内国際芸術祭の会場としても人気の島で、多くの人々が訪れています。伝説の由来となる大洞窟をはじめ、島の文化や歴史を感じさせるスポットを紹介します。



桃太郎伝説が残る島の自然、歴史に触れる

高松市女木町

高松港から、赤と白のストライプがひととき目を引くフェリー「めおん」に乗って約20分まで到着する女木島。1914（大正3）年に当時の男木島小学校の校長が大洞窟を発見し、桃太郎伝説と結び付けたことから「鬼ヶ島」と呼ばれています。港にある鬼の灯台が、観光客を出迎えてくれます。

港に着くとまずは「おにの館」へ。フェリーの待合室と資料館を兼ね備えた施設で、島についての情報を確認することができます。島の主な移動手段はバスか自転車、おにの館ではレンタサイクルを貸し出しています。おにの館を出ると、「オーテ」と呼ばれる石垣が目飛び込んできます。「いかにも鬼ヶ島らしい石垣ですが、鬼たちが築いた名残りではありません。冬の強風から島を守るための石垣です」と教えてくれるのは、鬼ヶ島観光協会ガイドの山田さん。



鬼ヶ島観光協会ガイドの山田さん



女木島の観光拠点「おにの館」



海からの風を防ぐ「オーテ」



海の安全を見守る「鬼の灯台」





鷲ヶ峰展望台から望む瀬戸内海



いろいろな鬼の表情が楽しめる「オニノコワプロジェクト2」は瀬戸内国際芸術祭の作品



桃太郎伝説の由来となった大洞窟



住吉神社



丸山古墳

鬼瓦を制作しました。怖そうなものから優しいようなものまでいろいろな鬼瓦がありますので、自分のお気に入りを見つけてみてください。洞

られていてるモアイ像があります。この像は、部族間の抗争や津波で倒壊したモアイ像の再建に携わった香川の企業がつり上げテスト用に制作した模作で、その後高松市に寄贈され、この場所に建てられました。

女木島のメインスポット「鬼ヶ島大洞窟」に向かいます。おにの館から約2・3キロ、途中に映画「釣りバカ日誌」で撮影に使われた主人公浜ちゃんの家を横目に見ながら、山道を登っていくと約30分で洞窟の入り口に到着。この洞窟は、広さ約4000平方メートル、奥行き約400メートルで、入口が少し狭く、中には鬼大将の部屋、鬼の会議室、宝庫のほかに監禁室などもあり、ちょっとした探検気分が味わえます。ガイドをお願いすれば桃太郎にまつわる逸話を織り交ぜながら楽しく案内してくれます。

洞窟内に鬼瓦がたくさん置いてある場所があります。これは瀬戸内国際芸術祭の作品「オニノコワプロジェクト2」で、県の伝統工芸である装飾瓦の技法を用い、県内の中学生約3000人が

窟から少し登ると鷲ヶ峰展望台があり、瀬戸内の多島美を360度のパノラマで楽しめます。

集落まで下る途中には、古墳時代中期に作られた丸山古墳や、海の神様として漁業、航海関係者に信仰されている住吉神社など、島の歴史を感じさせる場所があります。住吉神社で2年に一度、8月の第一土・日曜日に開催される大祭は、太鼓台ごと海の中に入っていく「あばれ太鼓」が見もので、その様子はおにの館でも上映しています。

海沿いを歩くと美しい弓形をした白砂の海水浴場が広がっています。海岸から鬼の角のように突き出た場所が「恋人岬」で、瀬戸内海と屋島が一望できる絶景ポイントです。海水浴場は県内随一の水質を誇り、快水浴場百選にも選ばれています。海岸から隣接するキャンプ場は島の老人クラブが管理しており、1日大人200円（小学生は100円）で利用できます。

「洞窟をはじめ、島の自然と展望台から望む瀬戸内の多島美など、小さい島ですが見どころは満載。島の人も温かいので、多くの人に足を運んでもらいたいですね」と山田さん。瀬戸内国際芸術祭だけでなく女木島の魅力を感じてみてください。



白砂が美しい海水浴場。その先に恋人岬

香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

高松市
人事課

新田 梨乃さん



■あなたのチャームポイントは？

声が大きいです。学生時代に身につけた発声のおかげでよく声が通るねと言われます。

■高松市をこうしたい！

高松市を何百年先も愛される街にしたいです。そのために、さまざまな側面から市職員としてバックアップしたいです。

直島町
建設経済課

下津 玲偉さん



■今、熱中していることは？

野球です。直島町で行われている野球の試合に毎週参加しています。

■直島町のいいところは？

現代アートと自然を強みにした観光業です。国内外問わず、多くの観光客が直島町を訪れます。

東かがわ市
農林水産課

青木 星也さん



■今、熱中していることは？

休日に友達と釣りに行くことにハマっています。季節ごとに釣れる魚が違うところが楽しいです。

■東かがわ市のいいところは？

東京五輪金メダリスト宇山賢さんが使用したフエンシンググローブは東かがわ産。その縫製技術は世界に誇れます。

綾川町
総務課

森 文香さん



■あなたのチャームポイントは？

笑顔です。マスクをしていても表情で笑顔であることが分かるように心がけています。

■綾川町をこうしたい！

町民の方が健康かついい笑顔で生活できるまちにしていきたいです。お年寄りから子供まで全世代が住みやすい地域にしたいです。

三豊市
財政経営課

西山 大晟さん



■あなたのチャームポイントは？

目が小さく、笑うとほとんど線になってしまいうので、エイの顔に似てる！と言われます。

■三豊市をこうしたい！

豊かな観光資源をより効果的にPRして三豊市を知っていただき、たくさんの方が集まる活力みなぎる街にしたいです。

大川広域行政組合
大川広域消防本部

橋本 智樹さん



■目指す人物像は？

イチロー選手のように継続的に努力ができ、自分を持った人になることです。

■組合のPRをお願いします！

さざんか荘、クリンセンターおよび消防等、さぬき市と東かがわ市の両市民が安心安全に暮らせるサービスを提供しています。

土庄町
商工観光課

中岡 恵麻さん



■あなたのチャームポイントは？

積極的に行動することです。一人で海外に行き、現地の人と触れ合うことで身に付きました。

■土庄町をこうしたい！

土庄町を住民で溢れる街にしたいです。地域活性化を図り、移住者やUターンで島に帰ってくる人を増やしたいです。

香川県広域水道企業団
西讃ブロック統括センター

林 はなさん



■今、熱中していることは？

ドラマを見返すことです。久々に見たりして、記憶の答え合わせをするのが楽しいです。

■企業団の仕事内容は？

水道施設および管路の更新工事等に関する設計施工監督業務を行っています。



浴室は全面改装し、最新の設備を導入



改修後の寝室。ベッドメイクは地元の女性が担当



丸亀市

古民家を拠点に島の魅力を発信 讃岐広島・小手島・ 手島活性化協議会

(会長 白賀 誠治さん)



尾上邸



広島で生まれ育った白賀さん。
地元への思いは人一倍

丸亀市の沖約12^{キロ}に位置する塩飽諸島の中で最大の面積を持つ広島は、古くから採石業が盛んで、花こう岩（青木石）が採掘されてきました。2019年に、小豆島町・土庄町・岡山県笠岡市と共同で申請した「せとうち備讃諸島石の島」が日本遺産に認定されたことを機に、広島を中心に小手島・手島の3島を盛り上げようと地元住民が中心となり立ち上げたのが「讃岐広島・小手島・手島活性化協議会」です。

「島の魅力を知ってもらうためには、拠点となる施設が必要。そこで目を付けたのが歴史的価値のある尾上邸でした」と話してくれたのは会長の白賀誠治さん。尾上邸は江戸時代に廻船問屋として栄えた尾上家の邸宅で、屋敷は広島の特産品の青木石の石垣の上に建っています。広い敷地には、母屋の他に納屋や茶室、蔵など歴史を感じさせる建物がいくつもあります。

協議会を立ち上げた当時の尾上邸は



石垣の上に建つ尾上邸からは
瀬戸内海が一望できる

長年の風雪で荒れるにまかせ、中に入ることができないほどでした。当主の許可を得て、尾上邸の運営・管理をNPO法人石の里広島と協議会で任されることになり、メンバーと活用方法について話し合う中で出てきたのが『農泊』。クラウドファンディングで寄付を募り、改修工事を実施し、2021年7月に、宿泊をはじめ交流や体験ができる施設としてリニューアルしました。

リビングや寝室は古民家の雰囲気を残しながら、キッチンやバス、トイレ、洗面台は最新の設備を導入しました。宿泊は1日1組限定で、今では週末を中心に月に2〜3組が利用しています。

「尾上邸を拠点に、島暮らしならではのユニークな体験を通して感動を与えられたら」と、島の竹を伐採

しての竹細工や竹チップづくり、釣りや石窯でのピザづくりなども企画しています。「食材はお客さまの持参ですが、要望があれば島でとれた魚や野菜を準備し、島の女性と一緒にかまどを使ったタコ飯づくりなどの料理体験も人気です」と、さまざまなイベントを通して島民との交流も深めることができます。

古民家を宿泊・交流施設に再生し、地域活性化につながっていることが評価され、2021年度の香川県空き家再生コンテストで最優秀賞に選ばれました。「島の財産である

尾上邸を情報発信の拠点として次代に残

していくとともに、これからも小手島・手島も含めた3島で地域を盛り上げていきたい」と熱く語る白賀さん。島の活性化は始まったばかりです。

DATA

讃岐広島・小手島・手島活性化協議会
香川県丸亀市広島江の浦2-15
広島コミュニティセンター内
☎0877-29-2300

サマージャンボ

7億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

サマージャンボ

3の千万円

1等3,000万円

当せんのチャンス広がる!

PCやスマホで
ネット購入!

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

この宝くじの
収益金は、市町村の明るく
住みよいまちづくり
に使われます。

7月5日(火)同時発売

発売期間/7月5日(火)~8月5日(金) 抽せん日/8月17日(水)

各1枚
300円

2022年市町村振興宝くじ

公益財団法人 香川縣市町村振興協会